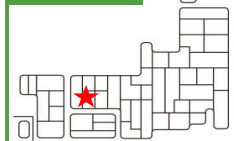


農作業を学ぶだけでなく、地域に貢献する体験を積み重ねることで自信や生きがいをもち、自立と社会参加を目指せるよう、地域との連携を通じた協働的な学びの充実を図る。

特別支援学校

広島県
広島市



きっかけ

R3年

自信や生きがいをもって自立と社会参加を目指し、雇用や就労につなげてほしいという思いから農福連携の取組を開始。

基本情報

設立:S38年 / 農福連携取組開始:R3年

人を耕す

- 全ての年次の生徒が、自信や生きがいをもち、自立と社会参加を目指せることを目的にして、作業学習【農業】の授業において、学校内のほ場で農作業を実施。
- 土ふるいや堆肥作りなどを行うため、攪拌機のある屋根付き小屋を整備し、作業棟には車いすの児童生徒が室内で安全に作業できる水耕栽培を設置している。

取組

地域を耕す

- 地域の公民館と連携した野菜の販売や、近隣住民を対象に訪問販売(受注型)実施。
- 学校見学会等で来校される方々、近隣の小学校、インターナショナルスクールの児童による収穫体験を実施し、生徒が収穫や袋詰めの手順を説明する場を設けている。
- 県内の農業を専門とする高等学校と連携し、土壌調査を依頼するなど、生徒同士が学び合う場を設けているほか、近隣小学校の児童に農作業を教えている。

未来を耕す

- 学校運営協議会を通して地域の様々な関係機関から助言を受け、農福連携の連携先や応援団になってもらうなど、連携の輪が広がり、地域を支えることができる人材として、自信や地域貢献への意欲につながっている。
- 収穫体験や農作業を通して、地域に対して障害のある児童生徒や特別支援学校の取組について理解を図るとともに、農業に触れるきっかけを創出する。
- 農福連携を通して人とのつながりを増やすことで、児童生徒の雇用につなげる。

概要

主力商品

(農作物)トマト、きゅうり、ナス、ピーマン、さつまいも、大根、白菜、ニンジン、小松菜

特徴的な取組

環境保全型農業、ユニバーサル農園

体制図



受け入れている者

身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	

成果

障害者数

197人(R3)
→217人(R7)

売上高

9.24万円(R3)
→11.5万円(R7)

農地面積

330㎡(R3)
→330㎡(R7)
※縮尺図による目安

- 農作業を通して、就労に必要な基本的な態度や意欲を身に付け、様々な職種への就労につながっている。
- 公民館での販売や近隣への訪問販売では、地域貢献への意欲や社会参加への自信につながっている。
- 収穫体験や小学校、高等学校との協働活動では、学んだことを発揮し、感謝されることで自己有用感の高まりにつながっている。

住所:広島県広島市安佐北区倉掛2丁目47-1

TEL:082-843-1811

Mail:hiroshima-sh@hiroshima-c.ed.jp

URL:https://www.hiroshima-sh.hiroshima-c.ed.jp/